



Arysta LifeScience

水生系不快害虫用殺虫剤

ボンフラン

ユスリカ幼虫、チョウバエ幼虫等の駆除

新世代の **速効** **殺虫発泡錠**

ネオニコチノイド系殺虫剤ジノテフランの
発泡錠剤が誕生しました。
ユスリカ幼虫、チョウバエ幼虫等には速効性の
殺虫効果を示しますが、魚毒性が低く、
鳥獣類にも毒性が低いため
野外の現場でも安心して使用できます。



5g×100錠入り



ボンフランの **2** 大特徴

有効成分は注目の ネオニコチノイド系殺虫剤 ジノテフラン

ネオニコチノイド系殺虫剤は次世代
原体として昨今注目を集めています。
ニコチンの化学構造の一部を応用す
る事で特定の生物に高い効力を示
すため、温血動物に対しては高い安
全性を示します。
また、水に溶けたジノテフランは魚類
に毒性が低いため、水中で使用する
もの安心して使用できます。

低薬量で水中を 効力濃度にてできる発泡錠

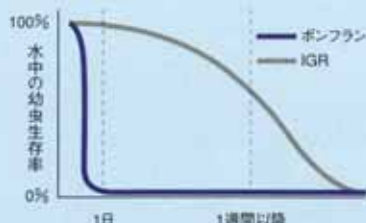
かつては、水中で殺虫剤を使用する
ときは、水中全体を一定の濃度と時
間を維持しなければならず、大量の
薬剤が必要でした。
しかし、発泡錠だと低薬量で水中の
害虫の生息する低域から中域までを
一定時間、優先的に効力濃度に保
つ事ができるため、薬剤の使用量を
減らすことが出来ます。
また、流水内においてもゆっくりと一
定した量が溶解するため、効果的に殺
虫することが出来ます。

アリスタライフサイエンス アグリマート株式会社

わかりやすい殺虫効果

ボンフランはIGR剤ではありません。だから、殺虫するのに、ゆっくりと虫が変化する時まで待つ必要が無く、溶解後すぐに効果が現れはじめます。

ボンフランとIGR剤の殺虫イメージ



品位あるパッケージ

業務用の殺虫剤を感じさせないパッケージを目指しました。チョウバエなどが発生した現場で施主に定期的な指導をした場合、室内に置かれて使用されても違和感がなく、それでいてそれとなくお薬であることがわかる品位を保ちました。



水流にも使いやすい十分な重さ

ボンフランは5gが1錠の質量となっています。水流のある水中では質量が小さすぎると水中に投入したとき底部に落ちきらず流されてしまい効力は弱まってしまう。また、すぐに解けきってしまうと有効成分が十分に害虫に接触できずに流れていってしまう可能性もあります。ボンフランはそれを考慮し質量が決められています。



わかりやすい使用方法

使用法は使用する場所に合わせたイラストに従って、現場を計測して式に当てはめて計算するだけで必要な量がわかります。現場でわずらわしい計算はあまりありません。また、使用するときのコツが一目でわかるようなイラストを採用しました。



環境にやさしく使いやすい包装

リサイクルの問題から缶等の廃棄に困る容器を廃して、アルミ蒸着フィルムの袋としました。袋はスタンドアップ型で狭い場所でも気にせず置くことができます。

少量使用にも便利な個別包装

ボンフランは1錠ずつの個別に包装でされた錠剤が5個連なってひとまとまりになっています。少量使用には湿気で使用しない薬剤が変質することがないので便利です。



水生系不快害虫用殺虫剤 ボンフラン 使用説明

※使用前に必ず下記の使用に際しての注意事項を読み十分理解した上で使用してください。

有効成分 ジノテフラン 20mg(1錠中)

適用害虫 ユスリカ幼虫、チョウバエ幼虫等の駆除

適用場所 側溝、下水溝、雨水槽、水溜、浄化槽、汚水槽など

使用方法 水量100～200Lに対し本剤1錠を投入してください。

してはいけないこと 薬剤を口や目に入れないこと。

相談すること

万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合は、水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて直ちに医師の診療を受けること。また、薬剤の使用により頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気、気分が悪くなった場合などには、直ちに使用を中止し、清浄な空気の場所で安静にして医師の診療を受けること。医師の診療を受ける際には、本剤がジノテフランを0.4%含有するネオニコチノイド系殺虫剤であること、及び症状、被曝状況について出来るだけ詳細に医師に告げること。

使用に際しての注意

- ①使用前に必ずラベルを読み、十分に理解した上で使用すること。
- ②定められた効能又は効果に従い、用法及び用量を厳守して使用すること。間違った使い方によって生じた事故について責任を負うことはできません。
- ③薬剤によってアレルギー症状やカブレ等を起こしやすい特異体質の人は、薬剤の処理作業に従事しないこと。

④病人、特異体質者、妊婦、乳幼児などは、薬剤の影響のない場所に移動させること。

⑤環境を汚染しないように乱用を避けること。また養殖池、井戸、地下水などを汚染する恐れのある場所、蜜蜂、蚕(桑)、水棲動物などに被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないこと。

⑥食品、食器、飼料、おもちゃ、寝具、衣類、愛玩動物、観賞魚、植物、貴重品、美術品、楽器、電気製品などはあらかじめ他へ移すか、あるいは格納し、薬剤がかからないようにすること。

⑦保護具(長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、保護マスク、保護靴、ゴム手袋など)及び使用する機械器具は、あらかじめよく点検整備しておくこと。

⑧使用に際しては、必要なだけ分散し、その都度使い切ること。

⑨本剤と他の薬剤とをむやみに混合したり、加熱したりしないこと。

使用中又は使用後の注意

- ①使用に際しては、保護具を着用し、身体露出部を少なくして薬剤を浴びないようにするとともに、できるだけ吸い込まないように注意すること。
- ②薬剤の調製、散布中の喫煙、飲食はしないこと。使用中又は使用後にトイレに行くときは、手や顔をよく洗ってから行くこと。
- ③使用後は必ず手や指などを、また、使用中に薬剤が皮膚についたときは、直ちに石けんと水でよく洗うこと。万一、薬剤が口、目などに入ったときは、直ちに水でよく洗い流すこと。作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、シャワーを浴びるなどして身体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えること。また、必要に応じて、医師の診療を受けること。

④作業時の衣服は、他の衣服と区別して洗濯し、保護具も洗剤でよく洗うこと。薬剤の処理に用いた器具機械類もよく洗うこと。

⑤使用済みの空容器などは、石けん水でよく洗い、小児が手に触れないようにするとともに、他に転用しないこと。汚染した器物や洗浄液は作業現場から持ち帰り、河川、湖沼、下水道などの水系や地下水を汚染する恐れのある場所には捨てないこと。

保管上の注意

- ①使用後に残った薬剤は、ラベル表示のある元の容器に密閉し、他のものと区別して保管すること。
- ②保管場所は、食品、食器、飼料などと区別し、小児の手の届かない所で、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にする。

その他の注意

- ①購入した薬剤は速やかに使い切ること。
- ②使用に際して、ご不明な点等があった場合は、03-3547-4320へご連絡下さい。

アリスタライフサイエンス アグリマート株式会社

〒104-6591 東京都中央区明石町8番1号

TEL 03-3547-4320 FAX 03-3547-4318

<http://www.arystallifescience.com>